

飼料作物奨励品種特性表

令和 5 年 3 月（更新版）
茨城県

目 次

I	イネ科牧草類・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1	イタリアンライグラス	
2	オーチャードグラス	
3	トールフェスク	
4	ペレニアルライグラス	
II	マメ科牧草類・・・・・・・・・・・・・・・・	2
1	アカクローバ	
2	シロクローバ	
III	飼料作物類・・・・・・・・・・・・・・・・	3
1	トウモロコシ	
2	ソルガム	
3	ライコムギ、ライムギ	
4	エンバク	
5	ヒエ（準奨励）	
IV	飼料向けイネ・・・・・・・・・・・・・・・・	5
1	飼料用稲（飼料用米用）	
2	飼料用稲（稲発酵粗飼料（イネWC S）用）	

I イネ科牧草類

1. イタリアンライグラス

品種名	育成地 又は導入先	早晩性	出穂期	草 型	耐倒伏性	耐病性	収量性(t/10a)		利用型	利用法	刈取 回数	特 性
							生草	乾物				
タチワセ	雪印種苗	早 生	4月上旬	直 立	中	弱	6.0	0.9	短 期	サイレージ	1～2	草型が直立型で、刈り取り効率が良い。マメ科牧草との混播に適する。
KAIR-E1803	全酪連	早 生	4月上旬	直 立	強	－	5.3	0.9	短 期	サイレージ	1～2	草型が直立型で、耐倒伏性に極めて優れる。また、細茎で分けつが多いため多収。
タチユウカ	畜草研、雪印種苗	早 生	4月上旬	直 立	強	弱	5.3	1.0	短 期	サイレージ	1～2	硝酸態窒素、カリウム含量が低い。
いなずま	カネコ種苗	早 生	5月上旬	直 立	中	弱	6.4	1.2	短 期	サイレージ	1～2	草型が直立型で、収量性に優れる。春播きにも適する。
タチムシャ	雪印種苗	中早生	4月中旬	直 立	強	弱	6.5	1.0	短 期	サイレージ	1～2	耐倒伏性が強く、ニオウダチよりも5～7日収穫日が遅い中生品種である。
ナガハヒカリ	農研機構	中生	4月下旬	直 立	強	－	7.2	1.2	短 期	サイレージ	1～2	4倍体品種。寒冷地での栽培に適する。収量性に極めて優れる。
ビリケン	雪印種苗	中晩生	4月下旬	やや直立	強	強	6.6	1.0	短 期	サイレージ	1～2	4倍体品種。耐寒・耐雪性に優れる。
エース	雪印種苗	晩 生	5月下旬	ほふく	中	強	14.0	2.1	極長期	サイレージ、 青刈り	3～5	耐暑性に優れる。耐病性がよく、再生力に優れ、多収。

注)栽培概要

1.畜産センター飼養技術研究室(石岡市根小屋)、2015～2019年、2020～2022年成績による平均値(一部)。

1)播種量:2倍体品種200g/a、4倍体品種300g/a、条播、条間:30cm、基肥:窒素・リン酸・カリ各0.5kg/aを施用、追肥:窒素・カリ各0.5kg/aを施用。

2)刈取:1番草は出穂期、2番草は1番草刈取後約30日を目安に実施した。

2. オーチャードグラス

品種名	育成地 又は導入先	早晩性	出穂期	草 型	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
						黒さび病	うどんこ病	生草	乾物		
ナツミドリ	雪印種苗	早 生	5月上旬～中旬	直 立	やや強	強	弱	6.0	1.1	サイレージ、青刈り、乾草、放牧	越夏性に優れ、秋の収量が多く、温暖な地域に適する。
ポトマック	雪印種苗	早 生	5月上旬～中旬	直 立	やや強	強	中	6.0	1.1	サイレージ、青刈り、乾草、放牧	耐病性、耐暑性に優れ、再生が良好である。

3. トールフェスク

品種名	育成地 又は導入先	早晚性	出穂期	草 型	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
						冠さび病		生草	乾物		
ウシブエ	雪印種苗	中 生	5月上旬	中 間	-	-		5.0	1.1	放牧、採草	環境適応性に優れ、永続性良好。

注)栽培概要

1.家畜改良セ長野支場飼料作物データベース公表データによる。2020～2021年成績による平均値。

4. ペレニアルライグラス

品種名	育成地 又は導入先	早晚性	出穂期	草 型	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
						冠さび病		生草	乾物		
フレンド	雪印種苗	晩 生	5月下旬～ 6月上旬	中 間	やや強	やや強		8.8	1.7	採草、放牧	耐寒性、雪腐病抵抗性に優れ、再生が良好である。

注)栽培概要

1.家畜改良セ長野支場飼料作物データベース公表データによる。2019～2021年成績による平均値。

II マメ科牧草類

1. アカクローバ

品種名	育成地 又は導入先	早晚性	開花期	草 型	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
						菌核病	茎割病	生草	乾物		
ケンランド	アメリカ	早 生	5月下旬	直 立	強	中	弱	5.9	0.8	青刈り、乾草	耐暑性がやや強く、多収である。

2. シロクローバ

品種名	育成地 又は導入先	早晚性	開花期	草 型	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
						そばかす病	黄斑モザイク病	生草	乾物		
フィア	ニュージーランド	早 生	5月下旬	ほふく	—	強	やや強	4.2	0.9	放牧	コモン型で葉は小型、良く密生し、永続性が良好である。

注)栽培概要

1.家畜改良セ長野支場飼料作物データベース公表データによる。2017～2019年成績による平均値。

Ⅲ 飼料作物類

1. トウモロコシ

系統名	流通名	育成地 又は導入先	早晩性	RM	黄熟期	草丈	耐倒伏性	耐病性	収量性(t/10a)		利用法	特 性
									生草	乾物		
タラニス	タラニス	カネコ種苗	極早生	95	8月上旬	232	中	強	3.8	1.3	サイレージ	子実・草姿が大型。多収ですす紋病抵抗性に優れる。
P9400	パイオニア100日	パイオニア	極早生	100	8月上旬	245	強	強	6.4	2.2	サイレージ	多収である。
北交65号	北交65号	北農研	極早生	105	8月上旬	219	強	強	4.0	1.3	サイレージ	多収で、初期生育、耐倒伏性に優れる。すす紋病抵抗性に優れる。
LG30500	スノーデント110	雪印種苗	早 生	110	8月中旬	235	中	強	4.2	1.6	サイレージ	茎葉割合が高く多収。ごま葉枯病、すす紋病抵抗性に優れる。
P1204	パイオニア110日	パイオニア	早 生	110	8月上旬	219	強	—	4.6	1.5	サイレージ	多収で、耐倒伏性に優れる。
P1690	パイオニア115日	パイオニア	早 生	115	8月上旬	267	強	強	6.8	2.0	サイレージ	耐倒伏性、耐病性に優れ、栄養収量が高い。
TX1334	ロイヤルデントTX1334	タキイ種苗	早 生	115	8月中旬	246	強	強	4.7	1.7	サイレージ	子実割合が高く多収。ごま葉枯病、すす紋病及び根腐病抵抗性に優れる。
KD671	ゴールドデントKD671	カネコ種苗	中 生	117	8月中旬	259	強	中	6.3	2.2	サイレージ	多収で、耐倒伏性に優れる。
NS118S	サイレージコーンNS118スーパー	カネコ種苗	中 生	118	8月中旬	293	強	強	6.9	2.0	サイレージ	多収で、耐倒伏性に優れる。ごま葉枯病、すす紋病抵抗性に優れる。
P2088	パイオニア118日	パイオニア	中 生	118	8月中旬	300	強	強	7.2	2.2	サイレージ	多収で、耐倒伏性、耐病性に優れる。
SM8490	スノーデント122レオ	雪印種苗	中 生	122	8月下旬	273	強	強	7.1	2.1	サイレージ	多収で、耐倒伏性、耐病性に優れる。
KD731	ゴールドデントKD731	カネコ種苗	中 生	123	8月中旬	266	強	強	7.4	2.1	サイレージ	多収で、耐倒伏性に優れる。ごま葉枯病抵抗性に優れる。
SH4812	スノーデントSH4812	雪印種苗	中 生	125	8月下旬	299	強	強	6.9	2.1	サイレージ	初期生育が良好で、雌穂割合が高く多収。
GX6836	Z-Corn128	全酪連	中 生	128	8月下旬	273	強	強	5.7	1.9	サイレージ	多収で、耐倒伏性に優れる。また、二期作に適する。
NS129S	サイレージコーンNS129スーパー	カネコ種苗	中 生	129	8月下旬	249	強	強	4.9	1.7	サイレージ	多収で、南方さび病、ごま葉枯病、紋枯病抵抗性に優れる。また、二期作に適する。
KD777New	ゴールドデントKD777New	アメリカ	晩 生	127	8月下旬	282	強	強	7.8	2.3	サイレージ	多収で、耐倒伏性、耐病性に優れる。

注)栽培概要

1.畜産センター飼養技術研究室(石岡市根小屋)、2014～2017年、2020～2022年成績による平均値(一部)。4月下旬播種の場合。

1)2粒播きで6葉期頃に間引き及び欠株に補植を実施。栽植密度:714本/a、株間:20cm、畝間:70cm、基肥:窒素3.0kg/a、リン酸1.0kg/a、カリ2.3kg/a施用(うち、緩効性肥料を窒素2.0kg/a、カリ1.3kg/a施用)。

2)刈取:黄熟期中期を目安、刈高は地際から5cmを目安とした。

2. ソルガム

タイプ	系統名	流通名	育成地 又は導入先	早晩性	出穂期	糊熟期	稈長	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
									すす紋病	紋枯病	生草	乾物		
スーダングラス	HSK-1	ヘイスーダン	雪印種苗	極早生	8月上旬	—	238	強	中	中	12.3	2.3	青刈り、サイレージ、乾草	極細茎で乾燥速度が速い。再生力旺盛。
ソルゴー型 ソルガム	KCS404	高消化ソルゴー	カネコ種苗	早 生	7月下旬	8月下旬	240	やや強	強	強	3.8	1.1	サイレージ	リグニン含量が少なく消化率が高い。
	FS902	ビッグシュガーソルゴー	雪印種苗	晩 生	8月下旬	9月中旬	271	中	強	強	6.0	0.8	サイレージ	太茎、多葉で多収である。耐倒伏性に優れる。

注)栽培概要

1.家畜改良セ長野支場飼料作物データベース公表データによる。2019～2021年成績による平均値。

3. ライコムギ、ライムギ

品種名	育成地 又は導入先	早晩性	出穂期	糊熟期	草丈	耐倒伏性	耐病性	収量性(t/10a)		利用法	特 性
								生草	乾物		
春一番	雪印種苗	極早生	4月中旬	6月中旬	113	中	やや強	5.8	1.0	サイレージ、青刈り	極早生で早春の生育が良好であり、安定した収量を得る。

4. エンバク

品種名	育成地 又は導入先	早晩性	出穂期	糊熟期	草丈	耐倒伏性	耐病性		収量性(t/10a)		利用法	特 性
							冠さび病		生草	乾物		
ウルトラハヤテ韋駄天	雪印種苗	超極早生	10月中旬	—	110	極強	強		4.0	0.8	サイレージ、青刈り	耐倒伏性、耐病性に優れ、出穂が最も早く、年内収量が高い。
隼(スーパーはやて)	雪印種苗	極早生	10月中旬	12月中旬	110	中	やや弱		3.9	0.8	サイレージ	秋の出穂が早く、年内収量が高い。
ニューオーツ	カネコ種苗	中 生	5月上旬	—	130	中	中		4.0	0.7	サイレージ、青刈り、乾草	細茎、細葉で乾燥が早く、ロールベールに適する。

注)栽培概要

1.家畜改良セ長野支場飼料作物データベース公表データによる。2019～2021年成績による平均値。

5. ヒエ(準奨励)

品種名	育成地 又は導入先	早晩性	出穂期	草丈	耐倒伏性	収量性(t/10a)		利用法	特 性
						生草	乾物		
グリーンミレット中生	カネコ種苗	中 生	8月上旬	150	中	3.9	0.8	サイレージ	水田、畑地ともに生育良好。栽培適応性が広い。
青葉ミレット	雪印種苗	中 生	8月上旬	150	中	3.0	0.7	サイレージ	耐湿性に優れ、転作田に適する。大柄で多収。

IV 飼料向けイネ

1 飼料用稲(飼料用米用)

試験 場所	品 種 名	育 成 地	早晩性	移植期 (月.日)	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	草型	耐倒性	稈長 (cm)	粗玄米重 (kg/a)	乾物収量(風乾重)		玄米 千粒重 (g)	葉いもち 抵抗性	イネ 縞葉枯病 抵抗性	脱粒性	穂発芽 性	玄米の食用品種 との識別性	備 考
											籾重 (kg/a)	わら重 (kg/a)							
作物 研究 室	夢あおば	北陸農業研究センター	早 生	5.27	8.07	9.18	穂重型	極強	80	67.6	86.1	102.9	25.8	不明	抵抗性	難	中	有(やや短粒)	WCS兼用品種。障害型耐冷性やや弱。
	ミズホチカラ	九州沖縄農業研究センター	極晩生	5.13	8.13	10.04	穂重型	極強	75	89.9	115.0	113.0	23.9	不明	罹病性	難	やや易	有(白未熟多)	収量に年次間差あり。トリケトン系除草剤成分に感受性。
水田 利用 研究 室	夢あおば	北陸農業研究センター	早 生	4.24	7.17	9.06	穂重型	極強	86	90.1	111.6	99.6	23.9	不明	抵抗性	難	中	有(やや短粒)	WCS兼用品種。
				5.22	8.01	9.24			91	78.3	-	-	25.2						
	べこあおば	東北農業研究センター	早生晩	4.23	7.23	9.03	穂重型	強	74	89.2	111.4	82.7	30.1	弱	罹病性	難	やや易	有(大粒、 やや長粒、 白未熟多)	WCS兼用品種。障害型耐冷性弱。
				5.21	7.31	9.19			76	85.8	-	-	30.7						
	オオナリ	次世代作物開発研究センター	中 生	5.21	8.09	10.09	極穂重型	やや弱	83	88.9	-	-	22.3	弱	抵抗性	やや難	難	有(やや長粒、 白未熟多)	「タカナリ」の脱粒性改良系統。トリケトン系除草剤成分に感受性。種子の休眠性深い。
	北陸193号	北陸農業研究センター	中 生	5.02	8.09	9.20	極穂重型	やや強	85	90.9	115.5	108.5	23.0	不明	抵抗性	やや易	難	有(やや長粒、 白未熟多)	種子の休眠性深い。
				5.21	8.14	10.17			92	89.1	-	-	23.6						
	あきだわら	作物研究所	晩 生	5.21	8.13	10.10	偏穂重型	やや強	88	74.6	-	-	21.8	弱	罹病性	難	やや難	無	イネ縞葉枯病の発生が多い地域では、本病の防除を必ず行う。
	月の光	愛知県農業総合試験場	晩 生	5.22	8.16	10.03	偏穂重型	強	87	64.6	-	-	22.6	強	抵抗性	難	やや難	無	倒伏しにくい。
	ミズホチカラ	九州沖縄農業研究センター	極晩生	5.02	8.17	10.05	穂重型	極強	76	89.6	113.5	99	23.1	不明	罹病性	難	やや易	有(白未熟多)	収量に年次間差あり。トリケトン系除草剤成分に感受性。

注)栽培概要

1.農業総合センター農業研究所作物研究室(水戸市上国井町)、2008年～2009年、2011～2012年成績による(うち、2年の平均値)。

1)苗質:稚苗、株間:15～16cm(栽植密度20.8～22.2株/㎡) 基肥:窒素・リン酸・カリは各0.9～1.0kg/aを施用、穂肥:出穂前20日を目安に0.3～0.4kgN/aを施用。2)千粒重:粗玄米の値。3)脱粒性:育成地データによる。

2.農業総合センター農業研究所水田利用研究室(龍ヶ崎市大徳町)、2008年～2012年、2014年～2017年成績による(うち、2～4年の平均値)。

1)苗質:稚苗、株間18～22cm(栽植密度15.2～18.5株/㎡) 基肥:窒素リン酸カリは各0.9～1.0kg/aを施用、穂肥:出穂前20日を目安に0.5～0.6kgN/aを施用。2)千粒重:1.85mm調製後の値。3)脱粒性:研究室試験圃場での調査による。

2 飼料用稲(稲発酵粗飼料(イネWCS)用)

試験 場所	品種名	育成地	早晩性	移植期 (月.日)	出穂期 (月.日)	黄熟期 (月.日)	草型	耐倒性	稈長 (cm)	黄熟期 生全重 (kg/a)	乾物収量(風乾重)		TDN (DM,%)	TDN 収量 (DM,kg/a)	葉いもち 抵抗性	イネ 縞葉枯病 抵抗性	備考
											籾重 (kg/a)	わら重 (kg/a)					
作物 研究 室	夢あおば	北陸農業研究センター	早 生	5.27	8.07	9.02	穂重型	極強	80	384	70.8	87.8	48.1	72.1	不明	抵抗性	飼料用米兼用品種。
	クサホナミ	作物研究所	極晩生	5.27	8.29	9.30	穂重型	強	82	474	85.0	102.6	48.5	96.8	不明	抵抗性	飼料用米兼用品種。
水田 利用 研究 室	夢あおば	北陸農業研究センター	早 生	4.28	7.18	8.16	穂重型	極強	88	380	82.1	78.7	45.4	68.6	不明	抵抗性	飼料用米兼用品種。
	クサホナミ	作物研究所	極晩生	5.22	8.23	9.24	穂重型	強	97	387	83.8	93.7	47.6	75.1	不明	抵抗性	飼料用米兼用品種。
	たちすずか	近畿中国四国農業研究センター	極晩生	5.02	9.01	9.29	茎葉型	極強	132	412	10.3	226.8	－	－	不明	罹病性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。
水戸 農改	たちすずか	近畿中国四国農業研究センター	極晩生	6.09	9.11	10.15	茎葉型	極強	114	309	－	－	52.6	－	不明	抵抗性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。
	つきすずか	近畿中国四国農業研究センター	極晩生	6.17	9.13	10.16	茎葉型	極強	113	297	－	－	52.8	－	不明	罹病性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。
稲敷 農改	たちすずか	近畿中国四国農業研究センター	極晩生	5.23	9.07	－	茎葉型	極強	124	287	－	－	50.8	－	不明	抵抗性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。
	つきすずか	近畿中国四国農業研究センター	極晩生	5.24	9.07	－	茎葉型	極強	128	294	－	－	52.3	－	不明	罹病性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。
近畿中 国四国 農業研 究セン ター	たちあやか	近畿中国四国農業研究センター	中 生	6月上旬	8.18	9.12	茎葉型	極強	112	－	10.2	152	56.1	88.9	不明	罹病性	籾わら比が非常に低く(茎葉型)WCSに適する。

注)栽培概要

- 農業総合センター農業研究所作物研究室(水戸市上国井町)、2008年～2009年成績による。
 - 苗質:稚苗、株間:16cm(栽植密度20.8株/㎡) 基肥:窒素・リン酸・カリは各0.9kg/aを施用、穂肥:出穂前20日を目安に0.3kgN/a(硫安)を施用。
 - 黄熟期判定: 2008年は極早生～中生は出穂後28日、晩生～極晩生は出穂後32日、2009年は極早生～晩生は出穂後25日、極晩性は出穂後30日を目安にした。
 - TDN(可消化養分総量): 乾物ベース、近赤外分析機NIRS Systems社6500型(粉碎型)による。
- 農業総合センター農業研究所水田利用研究室(龍ヶ崎市大徳町)、2008年～2010年成績による。ただし、「たちすがた」は2008年および2009年の平均値、「たちすずか」は2011年及び2012年の平均値。
 - 苗質:稚苗、株間:18cm(栽植密度18.5株/㎡)、基肥:窒素・リン酸・カリは各1.2kg/aを施用、穂肥:出穂前20日を目安に0.3kgN/a(NK-C6化成)を施用。
 - 黄熟期判定: 2008および2009年は黄化籾率が30～40%に到達した日とした。また、2010年は極早生～晩生が出穂後25日、極晩生が出穂後30日を目安とした。
- 新品種・新技術の確立支援事業実証圃成績による。(2018年および2019年の平均値、黄熟期は2019年、TDNは2018年のみ)
 - 水戸農改: 土壌:多腐植質厚層多湿黒ボク土、施肥N量2018年はつきすずか8.4・たちすずか7.0kg/10a、2019年は8.1kg/10a、株間役21cm
 - 稲敷農改: 土壌:グライ低地土、施肥N量:4.2kg/10a、施肥法:全面全層施肥、株間:約21cm
- 育成地公表データによる。2008～2011年成績
施肥N量.20kg/10a